

議事（1） 県都まえばし創生プラン改訂について

2023/12/13 県都まえばし創生本部有識者会議

- 1 県都まえばし創生プランとは
- 2 改訂の経緯
- 3 改訂の概要
- 4 改訂のポイント（協議事項）
- 5 今後の改訂スケジュール
- 6 意見交換

資料

- — — — — — — — — —
- 1 改訂案新旧対照表
 - 2 改訂案KPI一覧
- — — — — — — — — —

■ 前回の会議内容

● 改訂スケジュール

- 9月 第1回有識者会議（改訂の概要、スケジュール） ← 前回
- 10月 総務常任委員会報告（改訂の概要、スケジュール）
- 12月 第2回有識者会議（改訂案、意見聴取） ← 本日
- 1月 県都まえばし創生本部会議（改訂案）
- 2月 総務常任委員会（改訂案）
- 3月 県都まえばし創生プラン改訂



本日の会議結果を踏まえ、今年度中に改訂予定

● ポイント

- ・ 国が総合戦略を抜本的に改訂し「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定したことから、本市の第2期県都まえばし創生プランの計画期間を1年前倒して、第3期へ改訂。
- ・ 第3期県都まえばし創生プランの骨子案の共有。

■ 前回の会議内容

地域ビジョン

- ・デジタル技術の活用により、生活に時間の余裕を生み出し、心豊かな暮らしを実現する「デジタル&スロー」なまちづくりを目指す。
- ・官民共創による本市のまちづくりビジョン「めぶく。～Where good things grow～」行政企業・団体市民活動それぞれが連携補完し合うことで「共助型未来都市」の実現を図る。

基本目標 1 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

優先課題 1 未婚率の上昇と出生数の減少 →未婚の原因解消と子育て世代の負担軽減

①結婚・出産の希望実現

②仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり

③全ての子どもの学びを支え、育む教育

④安定的な雇用と収入の確保

基本目標 2 若者の定着と多様な人材の活躍により、地域の活力を維持する

優先課題 2 若者総数の減少 →若者の定着・還流と新たな流れの創出

⑤市内大学生等の定着

⑥魅力あふれるしごとづくり

⑦道の駅を交流拠点とした関係人口の増加

⑧移住・定住促進

優先課題 3 外国人・高齢者の人口の増加 →多様な人材が活躍できる環境づくり

⑨全世代活躍のまちづくり

⑩外国人材の定着・活躍促進・共生推進

基本目標 1・2 共通

優先課題 4 進展する人口減少（横断的課題） →持続可能なまちづくり

⑪誰もが暮らしやすい持続可能なまちづくり

⑫共助のまちづくり

デジタル技術の活用で取組全体を下支え

①行政手続きのオンライン化

②マイナンバーカードの普及・活用

③情報システムの全体最適化

④官民データ活用の推進

⑤市役所のDX推進

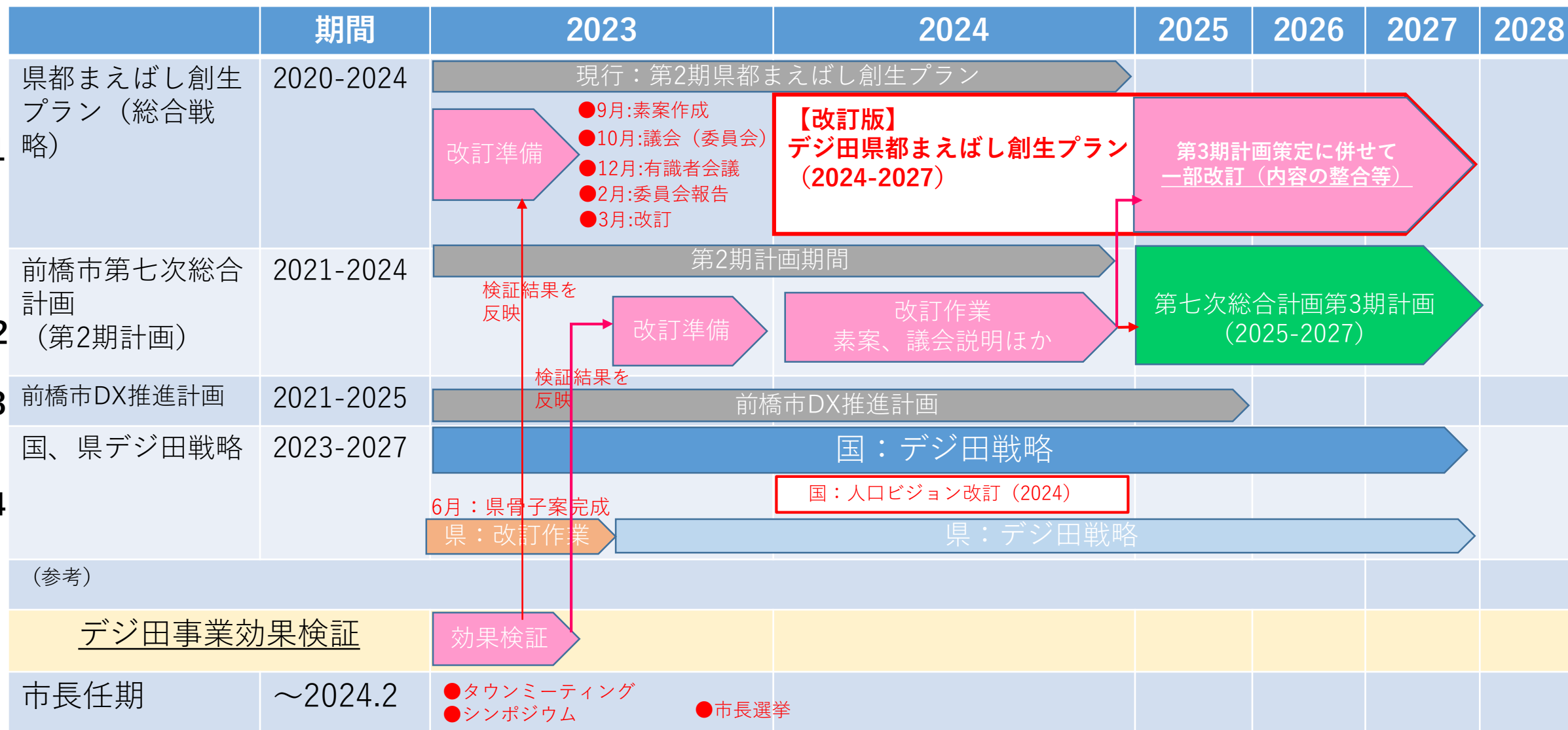
⑥地域社会のDX推進

⑦デジタルデバイドの解消

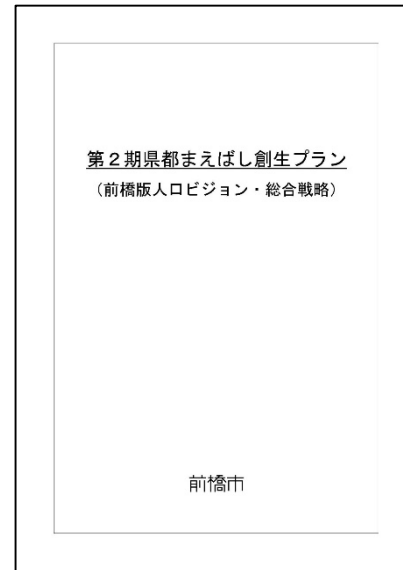
⑧デジタルインフラの整備

■ 前回の会議内容

● 現状及び改訂スケジュール案



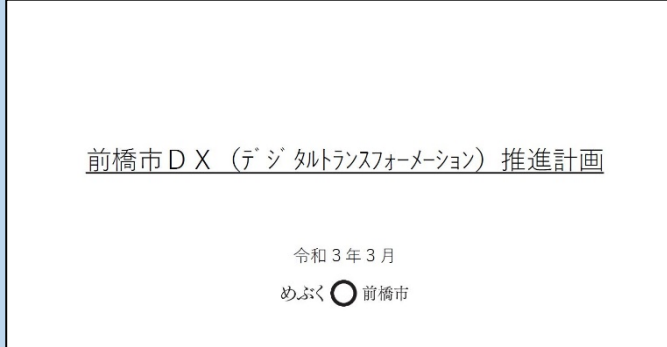


1 県都まえばし創生プランとは



1 県都まえばし創生プランとは

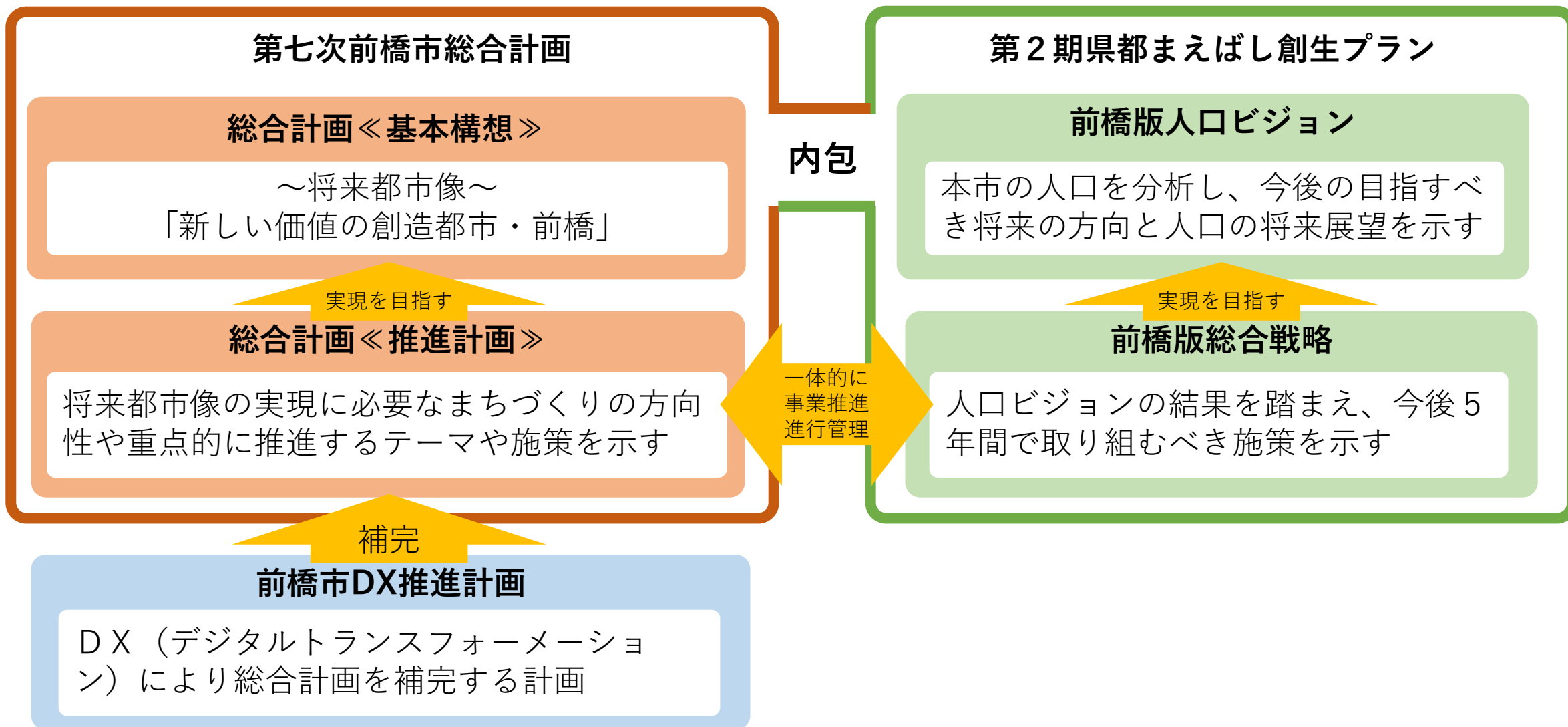
● 県都まえばし及び関係する計画

第七次前橋市総合計画	第2期県都まえばし創生プラン	前橋市DX推進計画
 <p>第七次 前橋市 総合計画 2021年度改訂版</p> <p>新しい価値の創造都市</p> <p>市民一人ひとりが個性と能力を生きかし、 個々に輝くことにより 新しい前橋らしさを創造するまち</p> <p>前橋市</p>	 <p>第2期県都まえばし創生プラン (前橋版人ロビジョン・総合戦略)</p> <p>前橋市</p>	 <p>前橋市DX (デジタルトランスフォーメーション) 推進計画</p> <p>令和3年3月 めぶく 前橋市</p>
<p>本市の最上位計画。 基本構想と推進計画の2層構想。 計画期間：2018-2027</p>	<p>まち・ひと・しごと創生法に基づいて定められている国の「長期ビジョン」及び「総合戦略」を勘案して、主に人口減少対策、東京一極集中の是正に繋がる本市の取組を掲載 計画期間：2020-2024 ※内容は総合計画と連動</p>	<p>第七次前橋市総合計画をDX (デジタルトランスフォーメーション) で補完する計画 計画期間：2021-2026</p>

1 県都まえばし創生プランとは

● 総合計画と県都まえばし創生プランとDX推進計画の関係

3つの計画は、図のとおり関係していることから最終的には、一本化していくことも検討しております。



1 県都まえばし創生プランとは

● 県都まえばし創生プランの概要

＜第2期県都まえばし創生プラン＞

総合計画の重点事業のうち人口減少対策、東京一極集中の是正に特に資する取組を位置付け人口減少問題の解決を目指す計画

● 計画期間：2020年度から2024年度まで

● 構成

第1章 人口ビジョン

本市の人口を分析し、今後の目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示す

第2章 総合戦略

人口ビジョンで示した目標達成に向け、取り組むべき施策を提示

第1章 人口ビジョン

・人口の将来展望

2040年 ⇒ 人口30万2千人

2060年 ⇒ 人口27万1千人

※2023年10月末時点 人口330,188人

・基本目標

- 1 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 2 若者の定着と多様な人材の活躍により地域の活力を維持する

・優先課題

- 1 未婚率の上昇と出生数の減少
- 2 若者の総数の減少
- 3 高齢者・外国人住民の増加
- 4 進展する人口減少

第2章 総合戦略

- ・優先課題の解決に向けて1 1 施策の施策体系
- ・施策ごとに総合計画の重点事業を位置付け

1 県都まえばし創生プランとは

●策定経緯

- ・2014年（平成26年）12月に「まち・ひと・しごと創生法」を施行
加えて、「長期ビジョン」及び「総合戦略」を策定し、人口減少問題の解決
に向けて様々な施策を講じてきた
- ・地方版総合戦略の策定を努力義務化⇒（県都まえばし創生プラン）

●策定のメリット

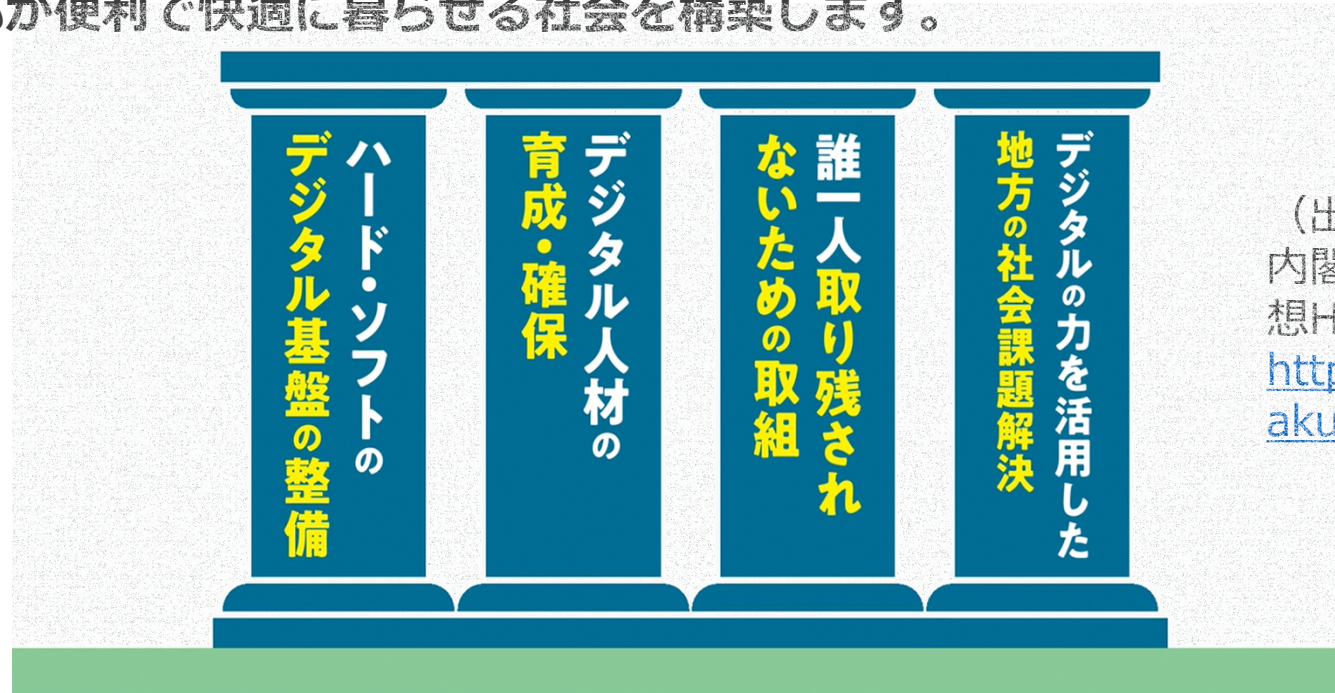
- ・**国は地方版総合戦略に位置付けられた事業を実施する場合に金銭支援を実施**
地方創生推進交付金活用 ⇒ 【交付実績：445,095千円（H28-R4）】
【交付見込：358,257千円（R5-R9）】
- ・**同様に地方版総合戦略に位置付けられた事業に対し、企業からの寄付があった
場合、企業版ふるさと納税として取り扱うことで地方を応援する企業を税制優遇**
企業版ふるさと納税受入 ⇒ 【受入実績：1,115,558千円（R2-R4）】
【R5受入見込：約550,000千円（相談含む）】

2 改訂の経緯

2 改訂の経緯

デジタル田園都市国家構想（概要）

- デジタル化によって各地方のさまざまな社会課題を解決しながら地域の魅力を向上させようという取組です。
- それぞれの地方が個性を生かしながら活性化していくことで、日本全体が成長していくことを目指しています。
- 地方の三つの「不」 = 不便・不安・不利をデジタル化で解消します。
- 全国どこでも、誰もが便利で快適に暮らせる社会を構築します。



(出典)
 内閣官房デジタル田園都市国家構
 想HPトップページ政府広報動画
<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digitaldenen/index.html>

令和3年11月9日	デジタル田園都市国家構想実現会議 発足
令和4年6月7日	デジタル田園都市国家構想基本方針 閣議決定
令和4年12月23日	デジタル田園都市国家構想総合戦略 閣議決定

2 改訂の経緯

デジタル田園都市国家構想総合戦略（概要）

解決すべき地方の社会課題

人口減少・少子高齢化

過疎化・東京圏への一極集中

地域産業の空洞化

デジタル実装を通じて、地域の社会課題解決・魅力向上の取組を、より高度・効率的に推進する。

デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

①地方に仕事をつくる

②人の流れをつくる

③結婚・出産・子育ての希望をかなえる

④魅力的な地域をつくる

⑤地域の特色を活かした分野横断的な支援

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

デジタル田園都市国家構想総合戦略（2023～2027年度）

地方は・・・

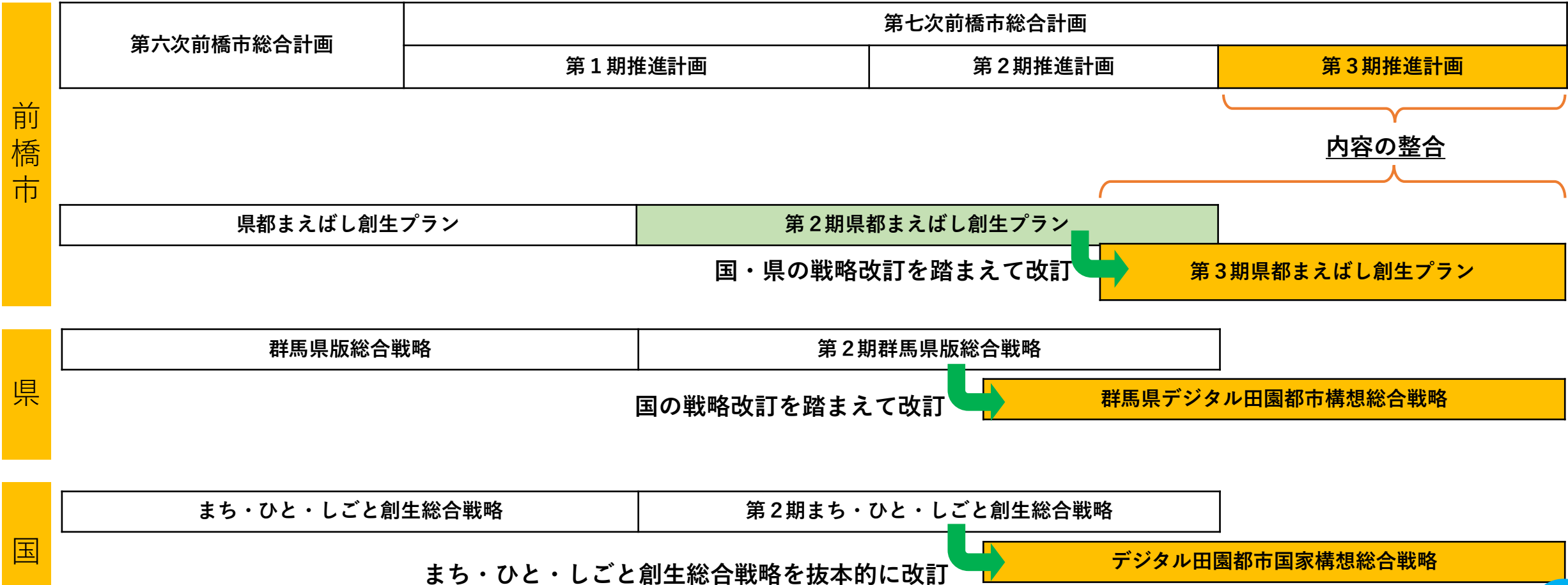
地域それぞれが抱える社会課題等を踏まえ、地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを再構築し、地方版総合戦略を改訂するよう求められている。

※群馬県は令和5年10月に群馬県デジタル田園都市構想総合戦略として改訂済

2 改訂の経緯

● 国・県・市の改訂状況の整理

平成 27年度 (2015)	平成 28年度 (2016)	平成 29年度 (2017)	平成 30年度 (2018)	令和 元年度 (2019)	令和 2年度 (2020)	令和 3年度 (2021)	令和 4年度 (2022)	令和 5年度 (2023)	令和 6年度 (2024)	令和 7年度 (2025)	令和 8年度 (2026)	令和 9年度 (2027)
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------



3 改訂の概要

3 改訂の概要

●計画の名称と期間

	第2期計画	第3期計画
計画名称	第2期県都まえばし創生プラン	第3期県都まえばし創生プラン (前橋市デジタル田園都市構想総合戦略)
計画期間	2020年度から2024年度まで	2024年度から2027年度まで

3 改訂の概要

●改訂箇所

目次		
はじめに		
1	地方創生をめぐる動き	【時点修正】 P1
2	前橋版人口ビジョン・総合戦略	【時点修正・位置づけ】 P2
第1章 人口ビジョン		
1	前橋市の人口動向	P3
2	人口動向の考察	
3	将来人口推計	
4	目指す将来の方向	
第2章 総合戦略		
1	地域ビジョン（名称は検討）	【新規追加】 P4
2	基本的な考え方	【時点修正・改訂の視点】 P4
3	基本目標・重要業績指標	【一部改訂】 P6
4	基本目標達成に向けた施策	【一部改訂】 P6
5	デジタル技術の活用で取組全般を下支え	【新規追加】 P15
6	推進体制	【一部改訂】 P17

2023改訂箇所

第2章の地域ビジョンを含めた改訂内容を総括する形で時点修正等を実施

2024の一部改訂で対応

理由：国のデジタル総合戦略では人口ビジョンの改訂をしていないため
 2024.12：国の人口ビジョン改訂を想定
 2025.3：市の人口ビジョンを改訂予定

2023改訂箇所

- ・地域ビジョン及びデジタル技術の活用を新規追加
- ・課題を取り巻く現状の整理
- ・5つの改訂視点による施策の見直し
- ・KPIの見直し
- ・推進体制の一部見直し

大幅な改訂ではなく、第2期計画の骨格を維持しながら改訂していきます。

3 改訂の概要

基本目標 1 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

優先課題 1 未婚率の上昇と出生数の減少 → 未婚の原因解消と子育て世代の負担軽減

①結婚・出産の
希望実現

②子育てしやすい
環境づくり

③子どもの育ちを
支える教育

④安定的な
雇用と収入の確保

基本目標 2 若者の定着と多様な人材の活躍により、地域の活力を維持する

優先課題 2 若者総数の減少 → 若者の定着・還流と新たな流れの創出

⑤市内大学生等の定着

⑥魅力あふれる
しごとづくり

⑦関係人口の増加

⑧移住・定住促進

優先課題 3 外国人・高齢者の人口の増加 → 多様な人材が活躍できる環境づくり

⑨生涯活躍のまちづくり

⑩外国人材の定着・活躍促進

基本目標 1・2 共通

優先課題 4 進展する人口減少（横断的課題） → 持続可能なまちづくり

⑪誰もが暮らしやすいまちづくり

3 改訂の概要

地域ビジョン

- ・デジタル技術の活用により、生活に時間の余裕を生み出し、心豊かな暮らしを実現する「デジタル&スロー」なまちづくりを目指す。
- ・官民共創による本市のまちづくりビジョン「めぶく。～Where good things grow～」行政企業・団体市民活動それぞれが連携補完し合うことで「共助型未来都市」の実現を図る。

基本目標 1 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

優先課題 1 未婚率の上昇と出生数の減少 →未婚の原因解消と子育て世代の負担軽減

①結婚・出産の希望実現

②仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり

③全ての子どもの学びを支え、育む教育

④安定的な雇用と収入の確保

基本目標 2 若者の定着と多様な人材の活躍により、地域の活力を維持する

優先課題 2 若者総数の減少 →若者の定着・還流と新たな流れの創出

⑤市内大学生等の定着

⑥魅力あふれるしごとづくり

⑦観光誘客による人口の増加

⑧移住・定住促進

優先課題 3 外国人・高齢者の人口の増加 →多様な人材が活躍できる環境づくり

⑨全世代活躍のまちづくり

⑩外国人材の定着・活躍促進・共生推進

基本目標 1・2 共通

優先課題 4 進展する人口減少（横断的課題） →持続可能なまちづくり

⑪誰もが暮らしやすい持続可能なまちづくり

⑫共助のまちづくり

デジタル技術の活用で取組全体を下支え

①行政手続きのオンライン化

②マイナンバーカードの普及・活用

③情報システムの全体最適化

④官民データ活用の推進

⑤市役所のDX推進

⑥地域社会のDX推進

⑦デジタルデバイドの解消

⑧デジタルインフラの整備

4 改訂のポイント （協議事項）

4 改訂のポイント（協議事項）

●改訂のポイント①

改訂の基本的な考え方を下記の5つの視点と定めております。

○第2期計画策定時

- ①第1期総合戦略事業の有効性・妥当性
- ②地方創生関係交付金の有効な活用
- ③本市の実情に即した新たな視点
- ④第七次総合計画との整合



○第3期計画策定時

- ①デジタル技術の活用による取組の加速化・深化
- ②デジタル田園都市国家構想交付金の有効な活用
- ③新型コロナウイルス感染症流行を契機とした新たな視点
- ④社会情勢の変化
- ⑤第七次前橋市総合計画との整合

4 改訂のポイント（協議事項）

●改訂のポイント②

前橋ビジョン「めぶく」や本市のこれまでの取り組みを踏まえて、地域ビジョンを再構築

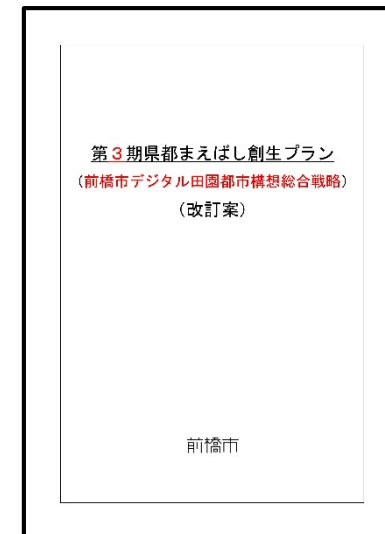
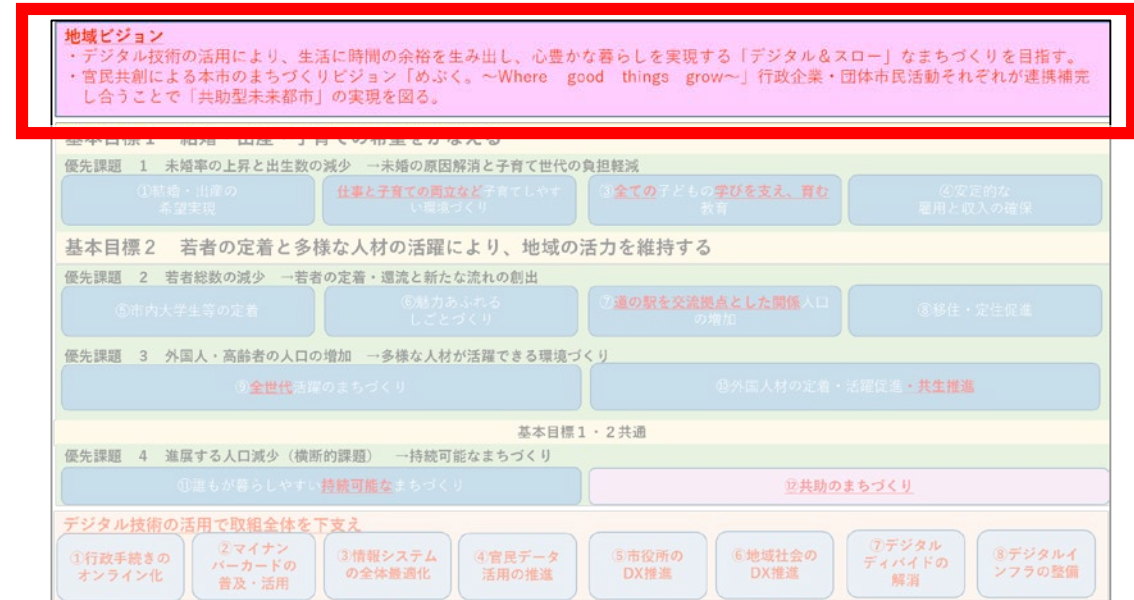
●官民共創による本市のまちづくりビジョン「めぶく。～Where good things grow～」に基づき、行政、企業・団体、市民活動それぞれが連携して補完し合い、他人ごとでなく自分ごととしてまちづくりに関わることで「共助型未来都市」の実現を目指します。

●デジタル技術の活用により、生活に時間の余裕を生み出し、生まれた時間を健康や文化的な活動に使うことで、心豊かな暮らしを実現する「デジタル&スロー」なまちづくり（デジタルグリーンシティ前橋）を目指します。

●独自に開発しためぶくIDとデータ連携基盤を元に、マイナンバーカードの信頼性とめぶくIDの匿名性を活用した市民サービスを展開します。ダイナミックオプトインに基づいて提供された個人データから一人ひとりのwell-beingをはじき出し、地域課題を可視化することで、暮らしの質（QOL）の向上や課題解決のスピード化を図ります。

※ダイナミックオプトイン：いつでもどこでも安心して自分の意志で自身のデータを提供・連携解除すること

※well-being：身心だけでなく、社会的な面も含めて満たされた状態のこと



改訂案の4ページに該当

4 改訂のポイント（協議事項）

●改訂のポイント③

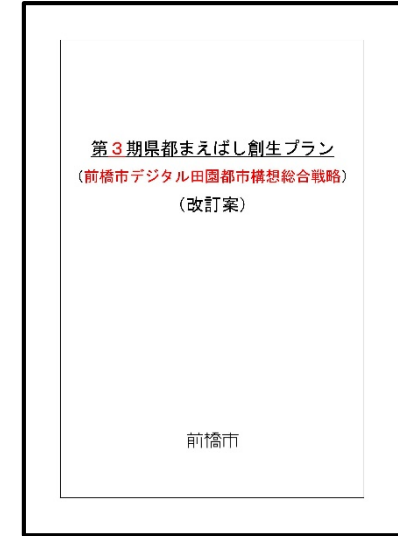
本市が取り組む共助のまちづくりを新たに施策として追加。



デジタル田園都市国家構想推進交付金（デジ田交付金）の採択を受け、令和4年度・令和5年度に本市が取り組んでいる共助のまちづくり。

本市の地域ビジョンの実現に向けて施策として位置付けることで、引き続き取組を推進する。

地域ビジョン ・デジタル技術の活用により、生活に時間の余裕を生み出し、心豊かな暮らしを実現する「デジタル&スロー」なまちづくりを目指す。 ・官民共創による本市のまちづくりビジョン「めぶく。～Where good things grow～」行政企業・団体市民活動それぞれが連携補完し合うことで「共助型未来都市」の実現を図る。	
基本目標1 結婚・出産・子育ての希望をかなえる 優先課題 1 未婚率の上昇と出生数の減少 一未婚の原因解消と子育て世代の負担軽減 ①結婚・出産の希望実現 仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり ③全ての子どもの学びを支え、育む教育 ④安定的な雇用と収入の確保	
基本目標2 若者の定着と多様な人材の活躍により、地域の活力を維持する 優先課題 2 若者総数の減少 一若者の定着・還流と新たな流れの創出 ⑤市内大学生等の定着 ⑥魅力あふれるしごとづくり ⑦道の駅を交流拠点とした関係人口の増加 ⑧移住・定住促進	
優先課題 3 外国人・高齢者の人口の増加 一多様な人材が活躍できる環境づくり ⑨全世代活躍のまちづくり ⑩外国人材の定着・活躍促進・共生推進	
基本目標1・2共通	
優先課題 4 進展する人口減少（横断的課題） 一持続可能なまちづくり ⑪誰もが暮らしやすい、持続可能なまちづくり ⑫共助のまちづくり	
デジタル技術の活用で取組全体を下支え ①行政手続きのオンライン化 ②マイナンバーカードの普及・活用 ③情報システムの全体最適化 ④官民データ活用の推進 ⑤市役所のDX推進 ⑥地域社会のDX推進 ⑦デジタルディバイドの解消 ⑧デジタルインフラの整備	

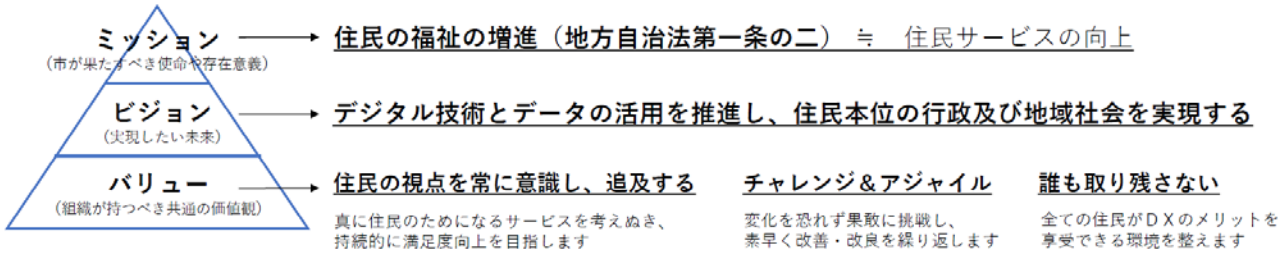


改訂案の14ページに該当

4 改訂のポイント（協議事項）

●改訂のポイント④

DX推進計画に位置づける重点事業の推進を通じて総合戦略に掲げる取組全般を下支えするものとして盛り込む



3つの柱と8つの重点事業

1 住民の利便性向上	2 新たな価値創造	3 すべての住民に
(1) 行政手続きのオンライン化 (2) マイナンバーカードの普及・活用 (3) 情報システムの全体最適化	(1) 官民データ活用の推進 (2) 市役所のDX推進 (3) 地域社会のDX推進	(1) デジタルディバイドの解消 (2) デジタルインフラの整備

地域ビジョン
 ・デジタル技術の活用により、生活に時間の余裕を生み出し、心豊かな暮らしを実現する「デジタル&スロー」なまちづくりを目指す。
 ・官民共創による本市のまちづくりビジョン「めぶく。～Where good things grow～」行政企業・団体市民活動それぞれが連携補完し合うことで「共創型未来都市」の実現を図る。

基本目標1 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 優先課題 1 未婚率の上昇と出生数の減少 → 未婚の原因解消と子育て世代の負担軽減
 ①結婚・出産の希望実現 ②仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり ③全ての子どもの学びを支え、育む教育 ④安定的な雇用と収入の確保

基本目標2 若者の定着と多様な人材の活躍により、地域の活力を維持する
 優先課題 2 若者総数の減少 → 若者の定着・還流と新たな流れの創出
 ⑤市内大学生等の定着 ⑥魅力あふれるしごとづくり ⑦道の駅を交流拠点とした関係人口の増加 ⑧移住・定住促進

優先課題 3 外国人・高齢者の人口の増加 → 多様な人材が活躍できる環境づくり
 ⑨全世代活躍のまちづくり ⑩外国人材の定着・活躍促進・共生推進

基本目標1・2共通
 優先課題 4 進展する人口減少（横断的課題） → 持続可能なまちづくり

デジタル技術の活用で取組全体を下支え
 ①行政手続きのオンライン化 ②マイナンバーカードの普及・活用 ③情報システムの全体最適化 ④官民データ活用の推進 ⑤市役所のDX推進 ⑥地域社会のDX推進 ⑦デジタルディバイドの解消 ⑧デジタルインフラの整備

第3期県都まえばし創生プラン
 (前橋市デジタル田園都市構想総合戦略)
 (改訂案)

前橋市

4 改訂のポイント（協議事項）

●改訂のポイント⑤

KPIの修正・見直しを行った結果

16項目⇒28項目へ増加

KPI	実績値					目標値
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2024年
合計特殊出生率	1.46	1.40	1.46	1.41	—	1.54
20-24歳の市外への転出超過数	369人	348人	310人	264人	470人	179人

基本目標に対する2つのKPIは、いずれも**数値の改善は見られず、計画期間最終年度（2024年度）の目標達成は難しい状況であることから第3期においても継続設定。**

その他、施策に対するKPIは資料をご参照ください。

地域ビジョン
 ・デジタル技術の活用により、生活に時間の余裕を生み出し、心豊かな暮らしを実現する「デジタル＆スロー」なまちづくりを目指す。
 ・官民共創による本市のまちづくりビジョン「めぶく。～Where good things grow～」行政企業・団体市民活動それぞれが連携・協働し合うことで「共創型未来都市」の実現を図る。

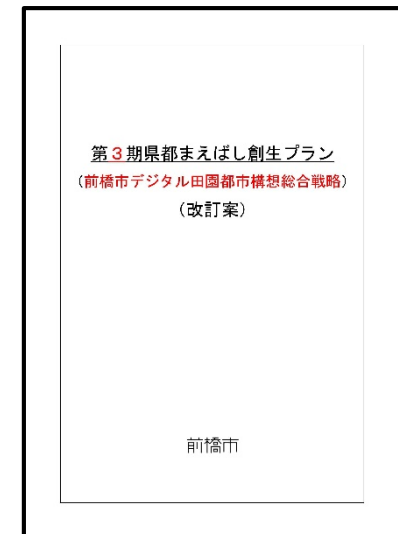
基本目標1 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 優先課題 1 未婚率の上昇と出生数の減少 → 未婚の原因解消と子育て世代の負担軽減
 ①結婚・出産の希望実現 ②仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり ③全ての子どもの学びを支え、育む教育 ④安定的な雇用と収入の確保

基本目標2 若者の定着と多様な人材の活躍により、地域の活力を維持する
 優先課題 2 若者総数の減少 → 若者の定着・還流と新たな流れの創出
 ⑤市内大学生等の定着 ⑥魅力あふれるしごとづくり ⑦道の駅を交流拠点とした関係人口の増加 ⑧移住・定住促進

優先課題 3 外国人・高齢者の人口の増加 → 多様な人材が活躍できる環境づくり
 ⑨全世代活躍のまちづくり ⑩外国人材の定着・活躍促進・共生推進

基本目標1・2共通
 優先課題 4 進展する人口減少（横断的課題） → 持続可能なまちづくり
 ⑪誰もが暮らしやすい持続可能なまちづくり ⑫共創のまちづくり

デジタル技術の活用で取組を加速
 ①行政手続きのオンライン化 ②マイナンバーカードの普及・活用 ③情報システムの全体最適化 ④官民データ活用の推進 ⑤市役所のDX推進 ⑥地域社会のDX推進 ⑦デジタルディバイドの解消 ⑧デジタルインフラの整備



改訂案の6～14ページに該当

5 今後の改訂スケジュール

5 今後の改訂スケジュール

●2023スケジュール

- 12月 第2回県都有識者会議（改訂案、意見聴取） ←本日
- 1月 県都まえばし創生本部会議（改訂案）
- 2月 総務常任委員会（改訂案）
- 3月 県都まえばし創生プラン改訂

6 意見交換